

世帯と人口

(11月1日現在)

世帯	43,491	(+ 8)
人口	117,938人	(+ 74)
男	60,400人	(- 14)
女	57,538人	(+ 88)

この数値は平成7年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



21世紀へ前進する海老名②3

ゆとりと活力へ 新たな歩み

いよいよ新しい世紀まであと1カ月となりました。2001年は、めまぐるしく変化を続ける時代の中で、暮らしを振り返るひとつの区切りになるのではないのでしょうか。この節目の年の4月に、市では総合計画の後期基本計画がスタートします。

第三次総合計画

後期基本計画

4月スタート

平成3年度から始まった海老名市第三次総合計画は、20年後(平成22年)の市のあるべき姿(将来都市像)を「ゆとりと活力のあるまちえびな」として、今年度まで前期基本計画を展開してきました。

来年4月から始まる後期基本計画は、「ゆとりと活力のあるまち」を引き続き目指していくことを前提にしています。策定に当たっては、経済状況を始め、社会の情勢が厳しくなっていること、市民の市政への関心が一層の高まりを見せていることなどの時代の流れを踏まえて、この10年の事業の見直しと、市民からの提言を生かすことに努めました。

ソフトへの転換・

市民参加を促進

同計画の内容は、ハード面(都市基盤整備)の重点施策として、21世紀の「えびなの顔づくり」のための海老名駅周辺整備を挙げています。また、計画全体としては、地球環境の保全、少子・高齢化社会に対応した福祉社会の実現など、目に見えなくても私たちの生活に欠かせない施策(ソフト面)に、より重点を置いたものとなっていて、キーワードは「ハードからソフトへの転換」。計画を実施するに当たっての市民参加や、市民活動を促進していくことも明記しています。

来るべき21世紀、心にゆとりと活力の持てる社会の実現を目指して、私たちとともに総合計画が新たな歩みを始めます。

(4・5面に特集)